

平成20年度
総合文化研究科修士課程第1次(筆記)試験入学試験問題

専 門 科 目

(14:00 ~ 17:00)

「人間の安全保障」プログラム

専 攻 (分 野) 名	氏 名	受 験 番 号

試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。開始の合図があるまで、下記の注意事項をよく読んでください。

【注意事項】

1. 本冊子に落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所等があった場合には、手を挙げて申し出ること。
2. 本冊子の表紙に専攻(分野)名、氏名及び受験番号を、解答用紙の上欄に受験科目名(「専門科目」と記入)、問題別番号、氏名、受験番号を忘れずに記入すること。
3. 解答問数と同じ枚数の解答用紙を配付するので、問題ごとに解答用紙1枚を使用すること。過不足があった場合には、手を挙げて申し出ること。
4. 解答には必ず黒色の鉛筆又はシャープペンシルを使用すること。
5. 問題解答に関係のない特殊符号、その他これに類似の記号及び符号を記入した答案は無効とする。
6. 試験場内で配付された解答用紙及び本冊子等は、持ち帰ることを禁ずる。

以下の2問すべてに答えなさい。解答にあたって用いる言語は、日本語を原則としますが、英語でもかまいません。解答用紙は1問につき1枚使用(両面使用可)、合計2枚とします。

【第1問：共通問題】

「人間の安全保障」の考え方は、あなたの研究課題または関心事項にとって、どのような意義と限界を有すると思われるか、述べなさい。

【第2問：選択問題】

次の6つの問題のうち1つを選び、答えなさい。なお、解答の冒頭に、選んだ問題の番号を書きなさい。

- 1 言説のポジショナリティ (positionality) とは何か、具体例をあげて説明しなさい。
- 2 自然資源の利用をめぐる諸問題について、「人間の安全保障」の観点から具体的に論じなさい。
- 3 国際刑事裁判所 (ICC) の可能性を論じなさい。
- 4 民主化と法の支配は「平和構築」に不可欠であるという言説をどう考えるか、具体例をあげて論じなさい。
- 5 移民の人権について、具体例をあげて論じなさい。
- 6 「欠乏からの自由」を主眼とした「人間の安全保障」政策を、今日の国際環境に照らして、どのように評価すべきか。具体例をあげて論じなさい。